

F A X 送付案内

平成27年1月15日

A4 5枚（本状含む）

関係各位



鹿児島県農政部畜産課 家畜衛生係
担当者：濱崎

鹿児島市鴨池新町10番1号
TEL:099-286-3226 FAX:099-286-5599
eikan@pref.kagoshima.lg.jp

中国等における鳥インフルエンザの発生について

平素よりお世話になっております。

中国等における鳥インフルエンザの発生について、農林水産省より情報提供がありましたのでお知らせします。

【中国における発生】

新たに1件の発生が確認されています。

発生日：2015年1月5日

血清型：H5N1亜型（高病原性）

発生状況：江西省 共青城市 江益鎮の農場

動物種	飼育頭数	症例数	死亡数	とう汰数
家きん	20,483	2,371	2,371	18,112

【台湾における発生】

新たに7件の発生が確認されています。

発生日：2015年1月6日～8日

血清型：H5N8, H5N2亜型（高病原性）

発生状況：

- ① 嘉義県 大林鎮（H5N8, 種がちょう, 1件）
- ② 屏東県 新埤郷（H5N2, 採卵鶏, 1件）
- ③ 屏東県 万丹郷（H5N2, 採卵あひる, 1件）
- ④ 雲林県 口湖郷（H5N2, がちょう, 2件）
- ⑤ 雲林県 四湖郷（H5N2, がちょう, 2件）

【その他の国における発生】

- ① カナダ ブリティッシュ・コロンビア州（12月19日発生, H5N2, 高病原性）
- ② ドイツ（1月7日発生, H5N8, 高病原性, 動物園動物）

鳥インフルエンザの詳しい発生情報は、農林水産省HPを参照ください。
<http://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/tori/index.html>

このように、本病の発生については、世界各地から報告されており、国内各地の野鳥や宮崎県及び山口県の養鶏場においても確認されています。依然として、国内での発生リスクは高い状況にあることから、引き続き、緊張感を持って、本病侵入防止対策に万全を期していただきますよう、よろしくお願い致します。

なお、養鶏関係団体等あてには、別途、防疫対策の強化に関する通知文を近日中に発出する予定であること申し添えます。

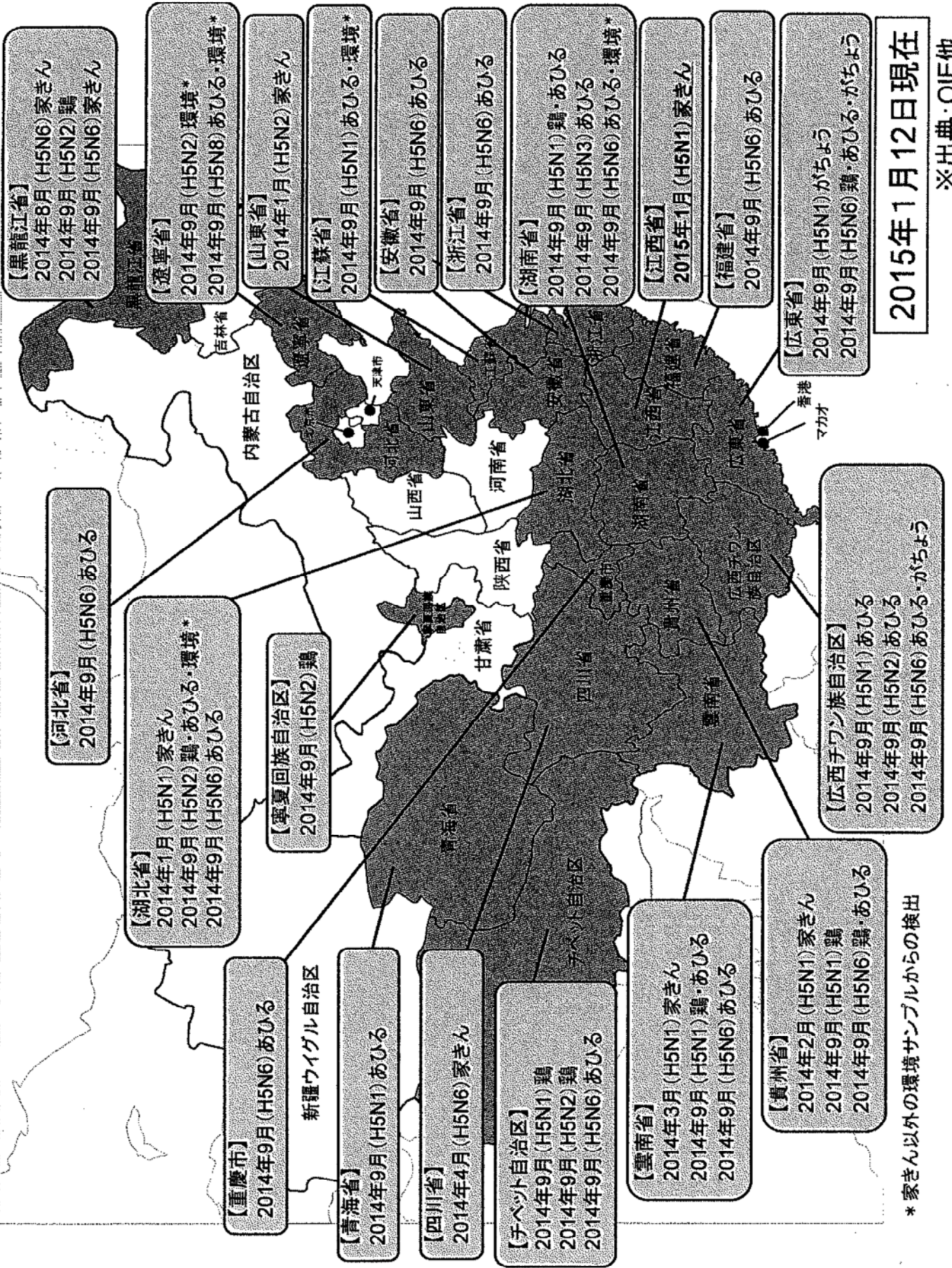
本病侵入防止対策

野鳥、ネズミ等の侵入防止対策、消毒の徹底（車、人）をはじめとした飼養衛生管理基準の遵守の徹底と、特に下記事項について日頃から確認いただき、小さな不備でも修繕・整備など早急に実施していただくよう、また、異常を認めた際の早期発見早期通報の徹底についてもご指導いただくようお願い致します。

記

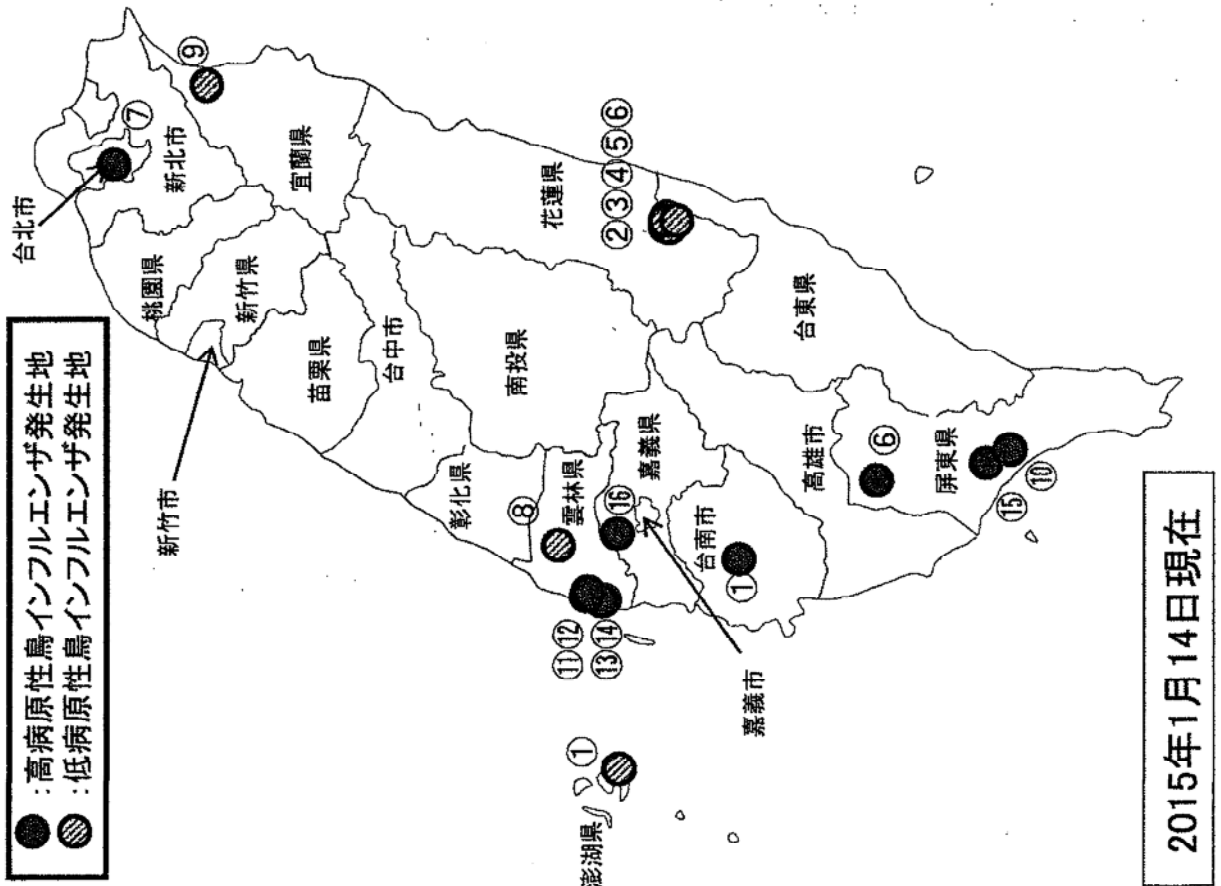
- 1 鶏舎の穴をふさぐ（野生動物・ネズミ等の侵入防止）
- 2 防鳥ネットの補修（隙間のないように）
- 3 飲み水対策（水道水でない場合は消毒実施）
- 4 鶏舎専用の長靴、衣服の着用（鶏舎にウイルスを持ち込まない）
- 5 消毒の実施（鶏舎毎の踏込消毒槽、車両消毒、手指の消毒、鶏舎周囲への石灰の散布）

中国における高病原性鳥インフルエンザ(2014年1月～)



* 家さん以外の環境サンプルからの検出

台湾における鳥インフルエンザの発生状況(2013年～)



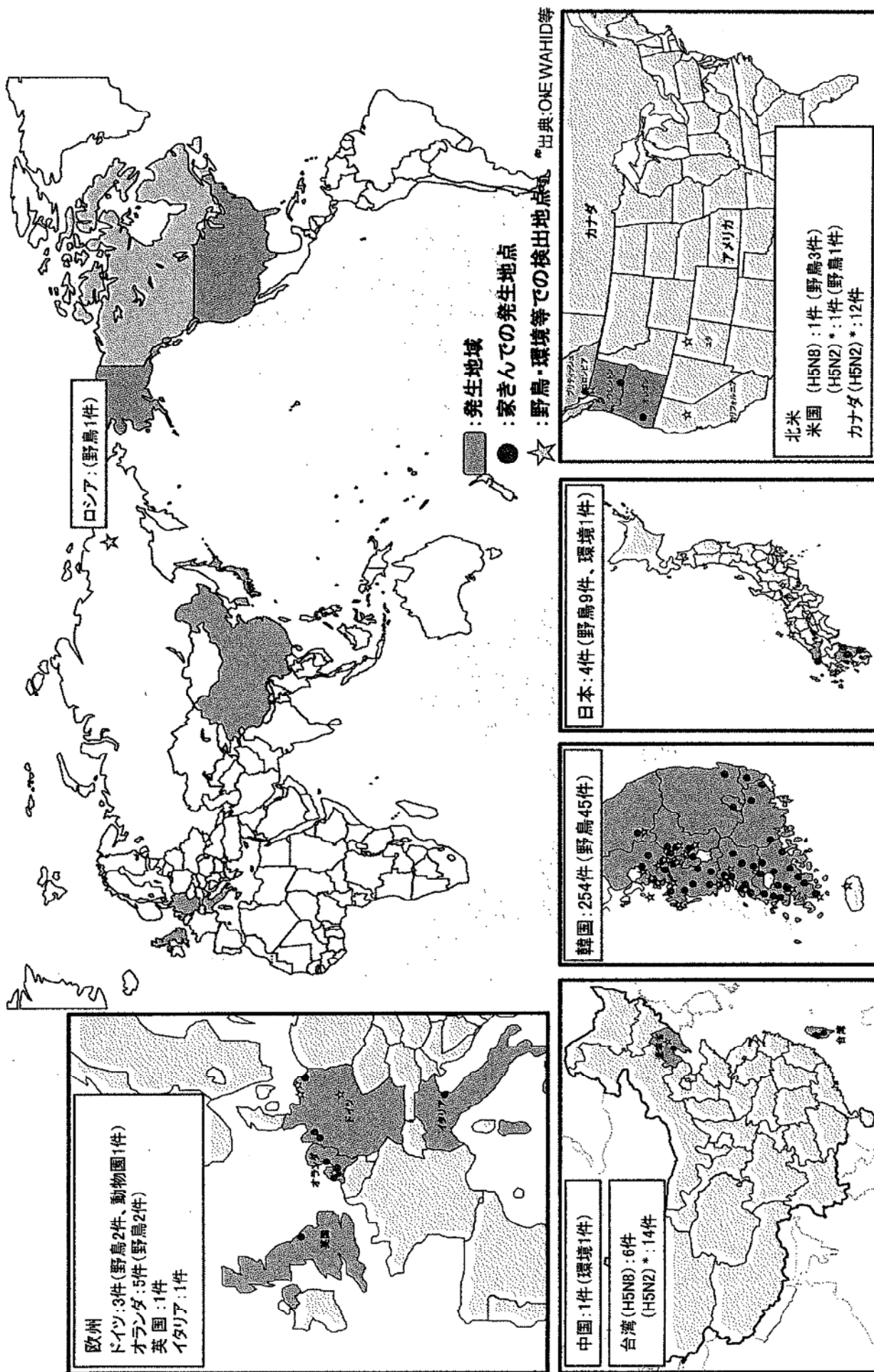
● : 高病原性鳥インフルエンザ発生地
 ● (斜線) : 低病原性鳥インフルエンザ発生地

2015年1月14日現在

高病原性	【場所】	【発生日】	【血清型】	【動物種(詳細)】
2013年	① 澎湖県馬公市	5月15日	H5N2(低)	家きん(ブロイラー) (※おとり鶏)
	② 花蓮県玉里鎮	6月19日	H5N2(低)	家きん(あひる)
	③ 花蓮県玉里鎮	7月3日	H5N3(低)	家きん(あひる)
	④ 花蓮県玉里鎮	9月9日	H5N2(低)	家きん(あひる)
	⑤ 花蓮県玉里鎮	10月18日	H5N2(低)	家きん(あひる)
	⑥ 花蓮県玉里鎮	11月4日	H5N3(低)	家きん(あひる)
'14年	⑦ 台北市万華区*1	4月15日	H5N2(高)	家きん(鶏)
	⑧ 雲林県二崙郷	4月21日	H5N2(低)	家きん
'15年	⑨ 宜蘭県礁溪郷	12月17日	H5(低)	家きん(あひる)
	⑩ 屏東県新埤郷	1月6日	H5N2(高)	家きん(採卵鶏)
	⑪ 雲林県口湖郷	1月7日	H5N2(高)	家きん(かちよう)
	⑫ 雲林県口湖郷	1月8日	H5N2(高)	家きん(かちよう)
	⑬ 雲林県四湖郷	1月8日	H5N2(高)	家きん(かちよう)
	⑭ 雲林県四湖郷	1月8日	H5N2(高)	家きん(かちよう)
	⑮ 屏東県万丹郷	1月8日	H5N2(高)	家きん(採卵あひる)
	⑯ 嘉義県大林鎮	1月8日	H5N8(高)	家きん(かちよう)

※ 出典: OIEほか ※ 日付は発生日(各々の事例が初めて観察された日)
 ※ (高): 高病原性鳥インフルエンザ(低): 低病原性鳥インフルエンザ
 *1 家きん卸売市場での発生。感染鶏は雲林県の農場由来
 *2 台湾当局の公表資料によると、2015年1月以降、桃園市、彰化県、雲林県、嘉義県、屏東県のがちよう及びあひるでH5N2が15件、H5N8が6件、H5(N型未確定)が19件発生(1月14日現在)

高病原性鳥インフルエンザ(H5N8亜型)の発生状況(2014年以降)



2015年1月13日現在

注: 本図は発生の有無を示したもので、その後の清浄性確認については記載していない。また、本図の縮尺は一致していない。
 * 米国ワシントン州、カナダ及び台湾で確認されたH5N2亜型ウイルスのHA遺伝子はユーラシア型ウイルス由来と考えられる。